

令和6年度指定管理運営業務評価票

施設名称：府立門真スポーツセンター		指定管理者：CW・関電FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課			
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
I 提案の履行状況に関する項目	平等利用が確保されるよう適切な管理を行なうための方策	(1)施設の設置目的及び管理運営方針	①施設の設置目的に沿った運営	A	A	評価委員会の指摘・提言	
			②提案した管理運営方針に沿った管理				
		③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み					

施設名称：府立門真スポーツセンター		指定管理者：CW・関西FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課				
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価	
			S～C		S～C		S～C	
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	<p>① 公平なサービス提供、対応状況</p> <p>② 高齢者、障がい者等に対する配慮</p> <p>③ 感染拡大防止対策の徹底</p>	<p>■誰もが使いやすい施設・ハードの整備や、誰もが参加できる事業、平等に利用できる運用ルールの設定マナー向上の啓発を実施。</p> <p>無料で参加できるプログラムとして、プールでは「ワンポイントレッスン」、トレーニングでは「サービスプログラム」を実施。</p> <p>②<高齢者への利用配慮> 健康運動指導士5人を配置。新たに日本赤十字社水上安全法救助員も配置。 トレーニングルームやプールにおいて、高齢者が利用しやすい環境を整えている。</p> <p><障がい者への利用配慮> 障がい者及び介助者の利用料金、駐車料金の減免対応。パラスポーツ指導員を4名、パラスポーツコーチを1名配置。貸出し用の車椅子を1台新設し、計4台設置。館内に「特別な配慮をご希望の方はスタッフまでお声かけください」の案内を設置し、合理的配慮に向けた取り組みを強化した。 どなたでもご参加可能なボッチャ&ペタンクの無料体験イベントを企画し、「心のバリアフリー」も推進。</p> <p>令和6年上期（4月～9月）減免対応利用者実績 ・トレーニングルーム：6,228人 ・プール：5,642人 ・計11,870人（前年+316人）</p> <p>③5類感染症へ以降後も出入口には消毒液を常設し、感染防止対策を継続している。ストレッチマットやロッカー等、定期的な備品消毒も行って、より安心な施設提供を行っている。新型コロナウイルス発生当初から、これまでもクラスターを発生させることはなく、運営を継続している。</p>	A	<p>①誰もが無料で参加できるプログラムを複数実施しており、参加者も多く、競技の能力向上を図ることができている。</p> <p>②健康運動指導士やパラスポーツ指導員を複数名配置することにより、高齢者や障がい者が安全に利用できるよう配慮されている。 また、車椅子の新設や無料体験イベントの企画を行うなど障がい者のスポーツの場を提供することができている。</p> <p>③施設職員や利用者が普段使用する場所の消毒等、感染拡大防止のための取り組みを実施することができおり、クラスターの発生もなく運営することができている。</p>	A			
施設の効用を最大限発揮するための方策	(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	<p>①利用者増を目指したにぎわいづくり方策の取り組み</p> <p>②年間の広告・広報計画等の情報発信の取り組み 〔指標〕利用者数 令和5年度実績：425,781人 令和6年度目標：430,613人 9月末現在実績：280,204人 令和6年度見込：577,850人</p>	<p>①月間行事案内を毎月発行し、要所への設置と関係各所への送付を実施。近隣の自治会にも働きかけ、身近な施設としてPRを重ねた。 キッチンカーや移動式託児所を設置することで、利用者増に努めた。トレーニングルームでの紹介イベントやプールキッズデーの開催等により、一般利用者の増加にも繋がっている。</p> <p>②令和6年度利用者数：280,204人 ⇒ 前年+73,070人 ⇒ 前年同期比：135.2%</p> <p>・コロナ影響により大幅な利用者減となった令和3年から比較すると、+178,350人の利用者増となっており、コロナ禍以降初めてコロナ以前の利用者数を上回った。 ⇒ 平成30年：240,488人 ⇒ 令和6年：280,204人（+39,716人）</p>	S	<p>①月間行事案内等を通じて、幅広くイベント等のPRを実施することができている。 また、トレーニングルームやプールでイベントを行うことで新たな利用者の確保にもつながっている。</p> <p>②指定管理者による事業PR等により競技大会やイベント、興行の誘致を多く行うことにより、大幅に利用者を増やすことができおり、上半期の実績としてコロナ禍以前の施設利用者数を上回ることができている。前年度比約135%と大幅な増加となっている。</p>	S		
	(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果	<p>①提案のあったサービス向上策の取り組み</p> <p>②自主事業の取り組み</p> <p>③施設設備、機能の活用</p>	<p>①デジタルサイネージでのタイムリーな情報発信による利用者満足度の向上に努めた。 特別な配慮が必要な方への案内を強化すると共に、ボッチャのイベントも企画して誰もが楽しめる施設づくりにも努めた。</p> <p>②自主事業として各種スポーツ教室等を継続実施。利用者のニーズに合わせ、DanceFit教室の新規開設も行った。 人気の高いリトモスは3か月に1回のペースでイベントも開催し、毎回ほぼ定員の集客状況となっている。 近隣幼稚園の水泳指導を受託し、着衣水泳も実施。また、水泳教室や短期教室への参加者増に努めた。</p> <p>③複合施設として様々な競技大会、イベント等を同日開催し、施設の有効活用を行った。 プール可動床を活用し、水球団体との連携をはじめ、アーティスティックスイミング日本代表チームのサポートをしている。</p>	A	<p>①有資格者を配置することにより高齢者や障がい者が利用しやすい施設となるよう努めることができている。 また、施設情報をタイムリーに発信することで利用者満足度の向上にもつながっている。</p> <p>②昨年度に引き続き、スポーツ教室及び文化教室を実施し、イベント等の開催により参加者の増加にも努めることができている。</p> <p>③プール、アリーナ及びアイススケートリンク全てにおいて、高い利用率を誇り、各々の用途に沿った大会やイベントを行うことができている。</p>	A		

施設名称：府立門真スポーツセンター		指定管理者：CW・関電FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課			
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
I 提案の履行状況に関する項目	施設の効用を最大限発揮するための方策	<p>(5)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度</p> <p>①施設設備の効果的な維持管理</p> <p>②施設設備の安全管理</p> <p>③緊急時の危機管理体制</p>	<p>①仕様書に則った設備維持管理を行い、大阪府様へのタイムリーな報告も実施している。異変を発見した場合は、早急に対応を行った。また、適宜大阪府様への報告も行っている。</p> <p>②職員間で不具合箇所の情報を共有し、リストの作成と活用により効率良く改善を実施。</p> <p>③危機管理マニュアルに基づいた行動を心掛け、危機管理体制を共有している。 年間通じて定期的な消防訓練、緊急対応訓練、CPR訓練を確実に 行い緊急時対応の技術を維持する。消防避難訓練は、消防職員立ち合いの下で実施した。 プール繁忙期に備え、7月には本社専門部署マネージャー立ち合いのもと、プール安全研修も実施した。 地震・火災・水害等の緊急時は、関係機関と連携しながら利用者や従業員の安全確保を図り、被害拡大を阻止できるように訓練を実施している。9月3日には大阪880万人訓練も実施し、利用者にも協力いただいて館外までの避難訓練を実施した。 安否確認システムを採用しており、職員の安否確認も実施している。</p>	A	<p>①施設修繕会議を定期的実施し、設備の現状等について共有のうえ、維持管理について協議し対応することができている。</p> <p>②施設設備等に不具合が発生した際の対処や管理体制が整備されており、府民等から不具合の連絡があった際には、即日対応を行うことができている。</p> <p>③緊急対応訓練や消防立会いのもと消防訓練を実施することで災害等に対する意識を高めることができている。また、プール繁忙期前にプール安全研修を実施する等、危機管理意識の向上を図ることができている。</p>	A	
	(6)収入確保策の実施	<p>①広告収入等の収入確保策の取組み</p> <p>②提案どおり実施されているか。</p>	<p>①空きスペースを活用し、実施可能期間は車の撮影会場として場所の提供を行い、約4,000円/回の収入を得ている。 令和5年度は3回/月のペースであったが、令和6年度は8回/月程度のペースで収入を得ている。</p> <p>②スケート実施時期には横断幕やのぼりを設置し、ポスター掲示と合わせて集客に努める。</p>	A	<p>①施設の空きスペースを活用しての取組みにより、昨年度以上に収入確保を行うことができている。</p> <p>②HPバナーをはじめ、アイススケートの横断幕等を設置し、集客にも努めることができている。</p>	A	
その他管理に際して必要な事項	(7)府施策との整合	<p>①府、公益事業協力等の取組み</p> <p>②行政の福祉化の取組み</p> <p>③市民・NPOとの協働の取組み</p>	<p>①アスマイルの啓蒙掲示物の掲示協力。 府政学習会は192名の申し込みがあり、申込者多数のため128名が抽選で選ばれ、103名が参加をされた。府民が当館に興味を持っていただいていることが感じられる。 府各部署からの啓蒙掲示物の掲示協力。 大阪マラソン、府催事広告の協力。 門真警察の防犯啓発ポスター掲示協力。 守口門真市消防組合消防本部の防火啓発ポスターの掲示協力。 まいど子どもカード、アクティブシニアパートナー利用料金割引実施し、まいど子どもカード19人、アクティブシニア2人が上期に利用された。 C-STEPへの継続加盟。 大阪・関西万博のチラシやのぼりを設置。 令和7年度予定の長期改修工事については、繰り返しの打ち合わせと会場の提供を実施。</p> <p>②地域就労支援センター、母子支援センター等、各就労支援事業から雇用活動実施。 共同事業体各社 障がい者の実雇用率 <令和6年4月1日現在> ・株式会社COSPAAウエルネス：2.79% ・関電ファシリティーズ株式会社：2.71% ・株式会社パティネレジャー：3.16% ⇒ 構成企業全てにおいて2.3%超を保っている。</p> <p>平成30年より、パラリンピックの出場を目指すパラスポーツ競技者1名を当施設で雇用し、様々なサポートを継続中。 パリパラリンピックへの出場は叶わなかったが、全国障害者スポーツ大会には、2年連続で大阪府代表として出場することが決まった。</p> <p>③職場体験の受け入れや幼稚園との協働による水泳指導を実施。福祉関連団体やボランティア団体との連携も行い、スムーズな施設利用に向けて双方で協働を行った。 福祉団体には準備や後片付けを含めて積極的な協力を心掛け、その結果として、繰り返しのご利用をいただいている。</p>	A	<p>①府福祉部施策である「まいど子どもカード」及び「アクティブシニアパートナー」をはじめ、多くの大阪府施策に積極的に協力している。</p> <p>②C-STEPへの加入や知的障がい者の雇用に取り組んでおり、(株)COSPAAウエルネス及び関電ファシリティーズ(株)においては、障がい者の実雇用率が昨年度より上昇している。また、従業員の中からパラリンピック選手を輩出し、継続してサポートしている。</p> <p>③門真市内3校の職場体験の受け入れに協力している。また、各団体と施設利用前に情報共有を行うことでスムーズに施設利用できるように対応ができている。</p>	A	

施設名称：府立門真スポーツセンター		指定管理者：CW・関電FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課			
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
	④環境問題への取り組み	④SDGsの17ゴール（6、7、12、13、15など）を意識し、雨水や井戸水の利用、コピー用紙の削減や省エネによる環境保全に努めた。COSPАウエルネスの費用にて、井水設備を設置し、雑用水として使用。 メインプール期間終了後の排水を、雨水貯蔵タンクへ移行し雑用水としてトイレの排水等に使用。 老朽化した照明器具を順次LED化し、節電効果の高いものに変更。 外気温や利用者数に応じて、濾過機、空調などの間欠運転を実施し節電に努めた。 COSPАウエルネスの費用で空調機制御インバーターを導入しており、24時間必要に応じた制御を実施。 コピー用紙は裏紙の使用やページ集約機能を活用し、使用量の削減を実施。 植栽への散水機の吐出時間及び、駐輪場や街灯を季節に応じてタイマー調整し節電、節水に努めた。 省エネに向けた意識の向上と効率を高めるため、タイムトライアルやスタッフのマルチ化等を推進し、スタッフの育成にも注力した。		④SDGsの17ゴールを意識した取り組みを実施できており、気候や利用状況に応じた取組みにて、節電・節水に努めている。また、コピー用紙の裏紙を使用する等、紙の使用削減にも努めている。 【参考（SDGsの17ゴールについて）】 6：安全な水とトイレを世界中に 7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに 12：つくる責任つかう責任 13：気候変動に具体的な対策を 15：陸の豊かさを守ろう			
I 総括		7項目（28点満点）	A	7項目（28点満点）	A		
II さらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況 ②調査結果のフィードバック（PDCA）	①アンケートを実施し、利用者満足度の向上に努めている。 （令和5年度配布実績 配布数567通 総合的な満足度の回答では、大変満足：69.7%・満足：30.3%の結果となり、満足以上の回答が100%を占めた。 「また利用したいか」の質問では、100%が「また利用したい」の回答であった。 ②結果は職員へ共有し、緊急性や影響度を考慮して、即日改善や計画的な改善を行っている。	A	①アンケート結果について、「大変満足」及び「満足」の回答が「100%」となっており、昨年度よりも「大変満足」が上昇し非常に良い結果となっている。 ②利用者からの意見・要望を受け、緊急性等を考慮し随時実施している。	A	
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取り組み 〔指標1〕自主事業参加者数 R5実績：3,273人、上半期実績：2,793人 R6目標：4,016人、上半期実績：3,139人 〔指標2〕自主事業収入状況 R5実績：55,635,757円、上半期実績：20,286,537円 R6目標：66,666,000円、上半期実績：18,705,607円	①Dance Fit教室の開講も行い、昨年度は2回の開催であったイベントも上期で5回開催。利用者のニーズにお応えするプライベートスイムも定着し、利用者増につながった。 令和5年度はアイススケートショーに係る自主事業業務の4月計上分が1,439,850円あったため、それを除けば99.3%とほぼ前年と同じ。	A	他の施設では見られない独自性のある自主事業を行っており、新たにDanceFit教室を開設したこともあり参加者数増加につながっている。また、冬季には参加者の多いスケート教室も控えているため、目標人数を超える見込みであるが、自主事業収入については昨年度からは減少となっており、目標値には届かない見込みである。	B	
	(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取り組み	①主催者と協力してキッチンカーを出店し、施設利用者だけでなく地域の方にもご利用いただいた。下期にもキッチンカーを出店予定。 ・競泳国際公認プールであるメインプールの一般開放日を設定し、競技者以外の方にもご利用いただいた。 ・ホームページから当館宛のお問い合わせやご意見を送れるように設定した。 ・来場者が多数見込まれる日は、主催者・タイムズ24とも連携を取り、入出庫の時間短縮に努めた。イベントによっては出庫に2時間以上を要することもあり、1時間程度の時間短縮を実現している。	S	・メインプールにおいて一般開放日を設けることで、幅広い利用者の獲得に努めることができています。 ・ホームページ内に問合せフォームを設けることで利用者の意見を聞ける環境を整えることができています。 ・アウトレットの閉館により、駐車場が混雑することが多くなる中、出入口変更等を実施することで入出庫時間を短縮できている。	A	
	II 総括		3項目（12点満点）	A	3項目（12点満点）	A	

施設名称：府立門真スポーツセンター	指定管理者：CW・関電FA・パティネレジャー 門真SC共同事業体	指定期間：令和2年4月1日～令和12年3月31日	所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課
-------------------	----------------------------------	--------------------------	----------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	評価
			S～C		S～C		S～C
Ⅲ 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	<p>①事業収支計画、事業収支実績状況</p> <p>〔指標〕R6収支計算書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入 プロポーザル：557,819千円、見込み：515,708千円 ・支出 プロポーザル：557,819千円、見込み：516,924千円 ・納付金 プロポーザル：0千円、見込み：0千円 	<p>① 事業収支実績（令和6年度上期実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■総収入：242,254,593円 計画比：105.8% ■総支出：279,961,234円 計画比：102.6% ■損益：▲37,706,641円 計画比：124.4% <p>上期は利用者増に伴う収入増により、物価高影響はあるものの損益は計画をクリアしている。ただし、3月に予定していたアイススケートショーの開催が時期ずれになったため、年度計では計画マイナス見込み。</p>	B	<p>収入見込みは未達となっているものの、光熱費等が高騰している中で支出を抑えることはできている。</p>	B	
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	<p>①職員体制・配置</p> <p>②管理監督体制・責任体制</p> <p>③指導育成、研修体制</p>	<p>①各部署に人員配置を行い管理運営を行う（常勤：週30時間以上）。</p> <p>管理運営業務 常勤18人、非常勤62人 施設総合管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備管理業務 常勤8人 ・警備保安業務 常勤4人 ・清掃業務 常勤4人、非常勤12人 <p>②総括責任及び管理運営業務（スケート管理運営業務除く）</p> <p>→ 株式会社COSPAウエルネス ・維持管理業務（警備保安業務及び清掃業務を含む）</p> <p>→ 関電ファシリティーズ株式会社 ・スケート管理運営業務</p> <p>→ 株式会社パティネレジャー 代表企業のCOSPAウエルネスを中心に、各社とも担当する業務に責任を持ち、運営を行っている。</p> <p>③休館日を活用して、安全訓練を中心に研修を実施し、スキルアップを図っている。運営会議、訓練を通じて、運営上の課題を検討して、都度の改善を実施した。</p> <p>夏場のプール繁忙期前にはプール安全研修を行い、遊泳者の異変の第一発見者になるための訓練や溺者への対処法などを行った。</p> <p>LGBTQ+や障がい者対応の研修も毎年実施している。</p> <p>プライバシーマークを取得しており、高いレベルでの個人情報の取り扱いを行っている。</p>	A	<p>①適切な人員配置により、適切な管理運営体制となっている。</p> <p>②共同事業体として各々で明確な役割分担を行い、管理運営を実施できている。</p> <p>③従業員の指導工場のため、様々な研修を実施することができており、従業員の資質向上を図ることができている。</p>	A	
	(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	<p>①法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤</p> <p>②法人等事業者の財務状況</p>	<p>①<株式会社COSPAウエルネス経営概要></p> <p>コ・ス・パ 29店、FITBASE24 21店、30peak 2店、運営受託 12店（令和5年度）</p> <p>売上高 10,276百万円 経常利益 168百万円</p> <p><関電ファシリティーズ株式会社経営概要></p> <p>施設維持の様々な要素を総合的に管理することで効率的な施設管理を全国規模で行う。（令和5年度）</p> <p>売上高 40,583百万円 経常利益 932百万円</p> <p><株式会社パティネレジャー経営概要></p> <p>全国的にスケートリンクの設計、設営、運営管理を行う。（令和4年10月～令和5年9月）</p> <p>売上高 3,522百万円 経常利益 622百万円</p> <p>②事業体各社前期の財務指標、損益実績を明示</p> <p>代表企業 株式会社COSPAウエルネス（令和5年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高 : 10,276百万円 ・経常利益 : 168百万円 ・資産合計 : 5,820百万円 	A	<p>①構成企業を含め運営基盤は、概ね安定していると認められる。</p> <p>②構成企業を含め財政基盤は、概ね健全であると認められる。</p>	A	
Ⅲ 総括		3項目（12点満点）		A	3項目（12点満点）		A
					年度評価		A